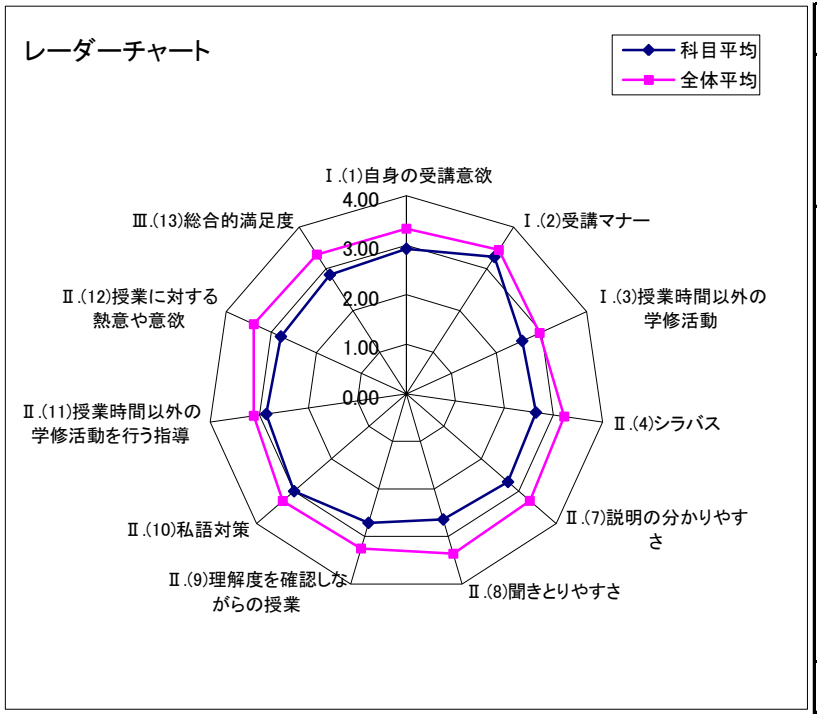
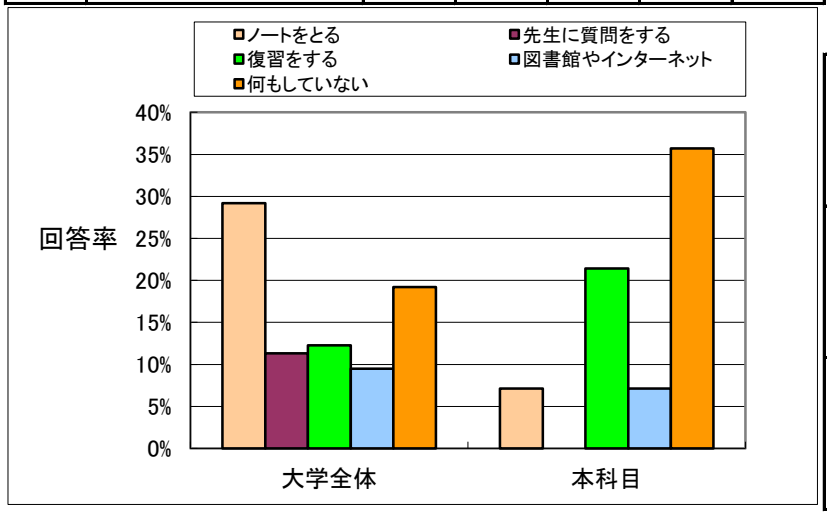
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	2.93	3.33
	Ⅰ.(2)	3.29	3.45
	Ⅰ.(3)	2.57	2.96
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	2.64	3.22
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	2.71	3.30
	Ⅱ.(8)	2.64	3.36
	Ⅱ.(9)	2.71	3.25
	Ⅱ.(10)	3.00	3.30
	Ⅱ.(11)	2.86	3.11
	Ⅱ.(12)	2.79	3.39
総合評価	Ⅲ.(13)	2.86	3.34

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

<※複数選択可項目>		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(14)	授業を理解するための工夫	7.1%	0.0%	21.4%	7.1%	35.7%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	2.93	3.25
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(12)	2.77	3.28
総合評価 Ⅲ.(13)	2.86	3.34

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度　後期
時間割番号	1267
科目名	ソフトウェア工学
教員名	

①授業計画の達成度について

授業目的や授業計画については、初回にシラバスのコピーを配布して説明し、各回の初めに授業全体のどの部分を今回行うのかを示した上で、各回の進度は学生の理解度にあわせながら調整をしてほぼ計画通りに進めることができたと考えています。学生の評価においても半数以上の学生がシラバスは役だったと回答しています(設問4)。

難易度については、少し難しさも感じるが理解できるという程度を目標としてやってきました。学生の評価(設問5･6)においても8割近くの学生がそう高くも低くもないという評価であり、難易度については問題なかったと考えます。

②授業の進め方について

説明などの聞き取りやすさ、理解度の確認、学習環境等に意識をしながら授業を進めてきましたが、設問7･8･9･10において2/3程度の学生がプラスの評価をしているもののマイナスの評価をしている者が1/3程度いることに対する工夫が必要であると考えます。

今年度からの新規開講科目であるためにPowerPointを使った授業を試してみたことが裏目に出て、ノートをとったりメモをとったりする学生が減り、毎回小テストと課題を出していたにも関わらず復習や課題レポートもやってこない学生が多かったと感じます。

以上の点から満足度も高いとは言えなかったと考えます。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

PowerPointを使うと教員から学生への一方通行の授業になってしまうだろうとの思いから、これまでPowerPointを使わない授業を行ってきましたが、理解しやすさやポイントの分かりやすさという意味から、今回のこの新規開講科目でPowerPointを取り入れた授業を試みました。そうしたところ、全体を通して授業中の学生の活気がないと感じていましたが、それが今回のアンケートの評価によく表れていると考えます。やはり学生自らが問題に取り組めるような授業展開をするために、考えさせる授業、演習などで自ら作業をしなければならない授業に改善することが重要であると考えます。

奈良産業大学